

【2024 事業報告書 ②】

HKFA審判委員会 女子部

高校総体北海道予選



■大会名 : 令和6年度第77回北海道高等学校サッカー選手権大会
兼全国高等学校総合体育大会サッカー競技北海道予選会

■日時・場所 : 令和6年6月12日(火)・13日(水) 枝幸町野外多目的グラウンド
18日(火)・19日(水) 札幌市白旗山競技場

■参加者 : 稲葉 里美 (1級審判員)
長浜 杏名・土屋 花・秋山 心音 (2級審判員)
オホーツク地区ユース審判員 (3級審判員)

5R ～一歩一歩着実に～

■参加者のコメント

稲葉 里美

6月12日から19日まで4日間大会に参加してきました。なかなか全日程に参加させてもらう機会も少なく、高校生の熱量を感じるとも貴重な経験をしました。そして、個人の課題としては、**得点に関わる重要な判定が求められる判定については、正しい判定ができる距離を意識して、自分も周囲も納得できる判定ができる位置まで行き説得力を持たせることを重視**しました。まだ動き直す場所も選手への影響も考え、距離が遠くならない位置を探して目を切ってしまう時もあったので、そこは修正すべき点だったと感じました。

土屋 花

今年も気温が上がりサッカーらしい天気の中で多くの白熱した試合に参加できたこと嬉しく思います。私は準決勝からの参加になりましたが、**サッカーによって様々な方と繋がることの大切さを感じました**。地区の活動では会えない方にも大きな舞台で一緒に審判団としてピッチに立てたことに感謝いたします。今大会が無事に終えることができたのは、運営の方や一つ一つのチーム関係者・選手の皆さまのおかげです。ありがとうございました。今後も女子サッカーの発展を願い、私自身も日々トレーニングを行いたいと思います。

オホーツク地区ユース審判員

今回初めて全道大会に審判として参加させてもらいました。普段は地区の男子の試合で審判に入っていますが、初めて女子の категорияで審判をしてみて、プレースピードや考慮すべきところが全く違って、とても多くのことを学ぶことが出来ました。そして全道大会ということもあり、**1級、2級審判員の方々と割り当てを一緒にやらせてもらい、色々な指導をしていただけて、審判員として成長できるいい機会**でした。今回学んだことを地区に帰ってから継続して、より良いレフェリングができるように努力したいです。参加させていただきありがとうございました。



都道府県女子審判トレセン WEB研修会①

- 事業名 : 都道府県女子審判トレセン WEB研修会①
- 日時 : 2024年7月11日(木) 20:00~21:20
- 講師 : 大石かおり(北海道サッカー協会審判委員会女子部・S2INS)
- スタッフ : 宮武 宏行(北海道サッカー協会審判委員会女子部・S2INS)
- オブザーバー : 大岩真由美氏(北海道サッカー協会副会長)
藤井 陽一氏(北海道サッカー協会審判委員会委員長)
- 参加者 : 稲葉 里美(1級審判員)
長浜 杏名・平木 柚香・土屋 花(2級審判員)
空知地区ユース審判員・オホーツク地区ユース審判員(3級審判員)

参加者のコメント

空知地区ユース審判員

試合の映像を見て何が正しいかなどではなく、様々な意見が聞けてとても勉強になりました。今後もこのような研修会があれば参加したいと思います。ありがとうございました。

高校総体

- 大会名 : 令和6年度全国高等学校総合体育大会サッカー競技大会
- 日時 : 令和6年7月30日(火)~18月3日(土)
- 場所 : 日鋼室蘭スポーツパーク(室蘭市)
リーフラスフットボールパーク(室蘭市)
まなびの里サッカー場(室蘭市)
- 参加者 : 稲葉 里美(1級審判員)
長浜 杏名・土屋 花・秋山 心音(2級審判員)
高橋 柚葉(3級審判員)

昨年北海道で開催された高校総体は、女子サッカー競技のみ、今年・来年も室蘭・伊達で開催されます。

参加者のコメント

稲葉 里美 決勝:主審 準決勝:副審 2回戦:主審 1回戦:主審

昨年に引き続き、北海道開催となった高校総体サッカー競技ですが、室蘭地区協会の方々や高体連の先生方のご協力のもと無事に終わることができました。大変感謝いたします。天気も猛暑というレベルの気温にもならず、悪天候もなく選手にとっても競技がしやすかったかもしれません。

今回は、北海道予選から全国大会までほとんどの日程を参加させていただきました。決勝戦では、とても光栄なことに主審を担当させていただきました。緊張感はありましたが、他の審判員の方達が1回戦から築き上げてくれたものを台無しにはいけないと思い、まずはこの大会の成功を考えながら走りました。なかなか経験できない環境で全国レベルのプレーを肌で感じることができましたし、また来年の開催時には更なるレベルアップができるよう普段の試合などでも日々進化できるよう努力していきたいと思いました。

長浜 杏名 準決勝：第4審 2回戦：副審 1回戦：副審

私にとってインターハイはこれまでも何度も参加してきたとても思い出のある大会です。そのインターハイが地元である北海道で開催されるということはとても感慨深いものでした。

副審2試合と第4審判員1試合の割当てを頂きましたが、**普段とやることは変わらず、ただ気持ちは選手と同じように高揚していたように感じます。**そして、私は決勝戦に審判員として立つことはありませんでしたが、普段一緒に活動している仲間が全国大会の決勝戦という大舞台に立ったということがとても誇らしく感じました。

土屋 花 決勝：副審 準決勝：副審

今回、高校総体の審判に参加させていただいたことを誠に光栄に思い感謝いたします。2年連続での北海道開催でしたが、実際に現地では気温の上昇が著しく熱いピッチでの試合が続きました。しかし気温は暑くとも選手達の気迫のこもったプレイに自然と私も気が引き締まる試合の審判となりました。

実際にピッチに立ったときに選手から感じられた様々な思いに全国大会という特別な場所は決してあたり前ではないと思いました。私自身もこのような経験は決してあたり前ではないということを忘れずにしっかりと今後につなげていきたいと思います。

今大会関係者の方々、チーム関係者や選手の皆様、また審判員の皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

秋山 心音 決勝：第4審 準決勝：副審 2回戦：副審 1回戦：副審

地元北海道という地でインターハイが開催されたこと、また今大会開催に当たってご尽力下さった多くの方々には心より感謝申し上げます。

大変有難いことに、一回戦から決勝戦までの4試合、すべての試合で割当ていただき、全国レベルの試合を女子一級審判員をはじめとした、多くの審判員と担当できたこと、非常に嬉しく思います。**選手のひたむきな姿や、しっかりと選手一人ひとりの目を見て向き合っている審判員の姿を見て、改めて今選手にできることはなんだろうと考えさせられる場面が多々ありました。**今大会を通して吸収できた様々な学びを、今後の審判活動に最大限活かしてトレーニングに努めたいと思います。

高橋 柚葉 2回戦：副審

今回、初めてインターハイに参加させて頂きました。大会の円滑な進行に努めたいいただいた競技役員の皆様には無事に感謝申し上げます。室蘭開催とお聞きしてから貢献したいという思いが強くあり準備をしてきました。

トップの審判員方から試合前の準備から終了後までの審判員としての立ち居振る舞いをたくさん学び吸収できたことが自分の財産となりました。今後の審判活動に活かしていき、来年度もまた北海道室蘭地区でのインターハイ開催に向けて準備していきたいと思います。

